

# 草加市総合教育会議議事録

平成30年度第1回

平成30年度第1回草加市総合教育会議

平成30年8月20日(月)午前10時から  
草加市役所本庁舎西棟第1・2会議室(5階)

○議 題

協議・調整事項 子どもたちの放課後等の過ごし方について

---

○出席者

市 長	田 中 和 明
教 育 長	高 木 宏 幸
教育長職務代理者	村 田 悦 一
教 育 委 員	井 出 健 治 郎
教 育 委 員	小 澤 尚 久
教 育 委 員	加 藤 由 美
教 育 委 員	宇 田 川 久 美 子

○説明員

子ども育成課長	小 中 一 郎
指 導 課 長	河 野 健

○事務局

総合政策部長	小 谷 明
総合政策部副部長	多 田 智 雄
総合政策課長	益 田 正 俊
総合政策課課長補佐	鈴 木 峰 生
総合政策課主査	谷 口 学
子ども未来部長	下 国 季 樹

子ども未来部副部長 (兼)子育て支援課長	岡 田 浩 春
子ども育成課課長補佐	三 原 昌 博
教育総務部長	今 井 規 雄
教育総務部副部長	本 間 錦 一
教育総務部副部長	青 木 裕
教育総務部副部長	野 川 雄 一
総務企画課長	伊 藤 寿 夫
学 務 課 長	菅 野 光 三
生涯学習課長	板 橋 克 之
中央公民館長	上 野 恭 正
総務企画課課長補佐	名 倉 毅
総務企画課庶務企画係長	山 岸 亮

○傍聴人 0人

---

午前10時00分 開会

◎開会の宣言

○総合政策部長 ただ今から、平成30年度第1回草加市総合教育会議を始めさせていただきます。司会を務めさせていただきます、総合政策部長の小谷と申します。よろしくお願いいたします。

開会に先立ちまして、傍聴の許可の確認をさせていただきます。本日の傍聴希望者はおりません。ご報告をいたします。

---

◎配付資料の確認

○総合政策部長 本日の協議・調整事項に入ります前に、お配りしております資料の確認をさせていただきます。会議次第、草加市教育大綱、資料1、資料2となります。

過不足等はありませんでしょうか。

---

◎協議・調整事項 子どもたちの放課後等の過ごし方について

○総合政策部長 これから、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、田中市長にお願いいたします。

○田中和明市長 それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。次第に基づきまして進めさせていただきます。

本日の協議・調整事項ですが、「子どもたちの放課後等の過ごし方について」でございます。

まずは、事務局より協議・調整事項の内容について説明をお願いいたします。

○総合政策課長 それでは、説明をさせていただきます。

本日の会議の協議・調整事項は、「子どもたちの放課後等の過ごし方について」でございます。

お手元の教育大綱をご覧ください。教育大綱の基本目標3、学校・家庭・地域の連携の推進の3項目目に「学校を含めた地域社会の中で、土曜日や放課後などにおける子どもたちの学習活動や体験活動の充実を図るなど、地域との交流・連携をいかした取組を進めるとともに、交流・連携しやすい環境づくりを推進します」という記述がございます。今回の協議・調整事項の内容はこちらに関わる部分でございます。

本日は、子ども未来部、教育総務部の双方から、子どもたちの放課後等の過ごし方に係る事

業についてご説明をさせていただきたいと存じます。

説明は以上でございます。

○田中和明市長 ただ今事務局より、協議・調整事項の内容について説明がありましたが、ご質問等はございますか。

なければ、事務局から説明をお願いします。

○総務企画課長 初めに、子ども未来部子ども育成課長から子どもたちの放課後等の過ごし方に係る事業についてご説明申し上げます。

○子ども育成課長 ご紹介いただきました子ども未来部子ども育成課長の小中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私からは、資料1にあります子どもたちの放課後等の過ごし方について説明させていただきます。

子ども未来部は、乳幼児から18歳未満の子どもたちまでを対象に様々な事業に取り組んでおりますが、特に、放課後等ということで、小学生と一部中学生について資料にまとめましたので、ご説明申し上げます。

まず、各種事業の説明に入る前に、資料の1番で、子どもたちが実際に放課後をどのように過ごしているのか、これについて昨年度、子ども未来部で行いました草加市子どもの実態把握調査結果がございます。アンケート調査をさせていただいた中で、興味深いものがございますので、ご紹介したいと思います。

まず1点目、「学校が終わってから、夕食までのあいだ、どこで過ごすことが多いですか」ということを小学校3年生と中学校1年生にそれぞれ聞きました。その中で、塾・習い事、公園・広場は、特に小学生がたくさん行っているということが分かりました。また、この中で、赤字で表記をさせていただきました児童クラブ・放課後子ども教室については、当課で担当している事業になりますので、後ほど詳しくご説明申し上げたいと思います。

2点目、ここが一番、個人的には興味深いと思ったのですが、「学校が終わってから、夕食までのあいだ、もっとやりたいと思っていることは何ですか」ということを聞きました。小学校3年生、中学校1年生ともに多かった部分は、「友達と話をしたい・遊びたい」ということでした。また、「ゆっくり休みたい」と4割ほどの小学生が感じていました。中学生については6割を超えています。小学生もすごく忙しいと感じたところです。さらに、「好きなことを楽しむ時間が欲しい」ということで、小学生、中学生ともに5割ほどいるということが明らかになりました。「友達と話をしたい・遊びたい」、また、「ゆっくり休みたい」ということに

については、資料の4番目の児童館を場として用意していきたいと考えております。

当課で具体的に行っている事業については、2番から4番になりますが、まず2番目の放課後児童クラブ（学童保育）についてご説明いたします。

放課後児童クラブにつきましては、条例上は、放課後児童健全育成事業という規定をされていますが、簡単に申し上げますと、仕事等で放課後、両親が家にいないなどのご家庭の児童を預かる、小学生の保育のようなものになります。

2番目に入室状況がございまして、保育園の保育士が足りない、あるいは少し前、「保育園落ちた、死ね」というようなツイッターの発言もあったとおり、保育の需要がすごく増えています。これに連動する形で児童クラブの需要も増えておりまして、グラフで表させていただきました。平成26年度、今から4年前には、入室の希望としては草加市全体で1,628人でしたが、5年たった今年度については2,267人と、600人強増えている状況です。このグラフを色違いで表させていただきましたが、青い部分が常設児童クラブで、従来から各小学校内にある児童クラブで受入れを行っているものになります。やはり、受入れに限りがありますので、入室の希望があっても受けきれないということで、入室保留児童をピンク色の部分で表させていただいています。平成27年度から、常設児童クラブを増やすことがなかなか難しい部分については、この緑色の第2児童クラブを小学校内の余裕教室であったり、余裕教室が見つからない所については、学校の敷地外の民間の一軒家であったり、あるいはテナント等を借りながら、設置いたしまして、対応しているところでございます。平成30年度現在といたしましては、今、このピンク色で示しました実質的な待機児童は、8人になっております。これは、第2児童クラブがなくて入れないということではなくて、全て受入れ体制はできているのですが、ご家庭の事情等によりこの8人の児童だけは、放課後も自宅で1人で過ごすというような状況になっております。

続きまして、3番目の放課後子ども教室でございまして。放課後に学校の施設、体育館、校庭、あるいは多目的室、さらに平成塾もお借りしながら、コーディネーター、サポーターという地域の有償ボランティアの方の協力を得ながら行っている事業でございまして、子どもたちは自分の好きなことを何でもしていいという場とさせていただいております。特に、今日は何をしようといったことや、プログラムなどがあるわけではなく、自由に過ごしていい場でございます。開催状況ですが、平成17年度に始まった地域子ども教室をベースに、平成19年度から放課後子ども教室として再スタートしておりますが、昨年度、小山小学校での開催をもちまして、現在は、全小学校で放課後子ども教室を開催させていただいているところでございます。

開催の頻度は、その学校によって異なりますが、多くは週1回の開催という状況でございます。平均的には、子どもたちが60人ほどいて、とても盛況で、週1回ということもあるかもしれませんが、すごく楽しんで遊んでいます。

4点目が児童館・児童センター、さらに公民館、あるいは文化センター、図書館、歴史民俗資料館を資料でまとめさせていただきました。

私どもで所管している児童館でございますが、詳細に申し上げますと、児童に健全な遊びを提供して、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする施設でございます。先ほどアンケートの中でご紹介しました、「友達と話をしたい・遊びたい」、そういったことを実現する安全な場になるよう、日々、取り組んでいるところでございます。

児童館につきましては、現在、新栄児童センター、氷川児童センター、住吉児童館、谷塚児童センターの4か所でございます。また、ここに赤字でタイトルにさせていただきました松原児童センターでございますが、平成28年度で松原団地の中にあつた松原児童館が、団地の建て替えによって、現在は閉館となっております。それに代わるものとして、同じ松原団地の敷地内に新しく児童センターを造る計画で取り組んでいるところでございます。敷地面積は、4,000㎡、建物の延べ床面積が約1,500㎡で、通常、草加市の児童館は、300㎡から400㎡と小型なのですが、ここには大きな児童センターを建てさせていただいて、児童館と青少年の活動の部分もここでできるような場にしたいと思っております。また、多世代交流ということで、地域のいろいろな方々にご利用いただきたい、さらに、文化芸術、特に音楽の振興の場としてご利用いただけるように、通常、アリーナ、体育室のようなものを作るのですが、ここには音響にも配慮した体育室にしまして、子どもたちや、子どもに向けた大人たちの音楽もできるような場にしたいと考えております。

予定といたしましては、平成33年度、今から3年ぐらいかかると思いますが、その頃オープンする予定となっております。他に、公民館や文化センターにつきましても、各種子ども向けの事業に取り組んでいただいております。参加者数を資料で示しております。また、その事業以外でも、毎日、公民館、文化センターには、放課後になると子どもたちが自由に過ごす場として、20人から30人ぐらい、夏休みなどは一日中いる子どもたちもいるような状況でございます。

子ども未来部子ども育成課からの説明としては以上でございますが、児童館にしても、子ども教室にしても、児童クラブにしても、教育委員会等、ご協力いただきながら取り組んでいるものが多くある状況でございます。

説明は以上でございます。

○総務企画課長 続きまして、教育総務部指導課長からご説明申し上げます。

○指導課長 教育総務部指導課長の河野でございます。よろしくお願いいたします。

子どもたちの放課後等の過ごし方についてご説明いたします。

資料2をご覧ください。

現在、草加市教育委員会では、「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念に掲げ、子どもたちが「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」、つまり知・徳・体をバランスよく身に付け、一人ひとりがよりよく生きていく力を育成する取組を推進しております。

初めに、確かな学力、自ら学ぶ子の取組では、年5回の草加サタデースクールを始め、年13回の草加寺子屋、土曜学習、年18回の中学校放課後学習を行っております。また、子ども大学そうかでは、獨協大学との共催により、また他大学、今年は東京電機大学、上野学園大学短期大学部にも協力をいただき、連携して、子どもたちの知的好奇心を刺激する講義や体験活動が行われています。具体的には、語学講座や草加市の郷土学について学びました。さらに、中央図書館では、読み聞かせや工作会、人形劇等を開催いたしました。

多様な学ぶ場を提供することにより、子どもたちが学習意欲を高め、主体的に学習する習慣を身に付けさせるとともに、確かな学力の定着及び向上を図っております。

次に、豊かな心、心豊かな子の取組では、公民館や歴史民俗資料館で様々な体験活動ができる講座や教室を開催しました。市内6か所の公民館の夏休み企画では、伝統文化教室、茶道・華道教室を始めとする75の講座・教室を開催し、延べ3,000人以上の参加がありました。また、地域サークルや子ども会、ボランティアの活動や、町内会の催しも数多く行われました。様々な体験活動を通して、多くの方々と出会い、支えられ、共に活動することで、子どもたちの豊かな心の育成を図っております。

次に、健やかな体、たくましく生きる子の取組では、教育委員会といたしましては、土曜日等の教育活動検討委員会でパンフレット『いき！いき！サタデー』を作成し、各家庭に配布し情報提供を行っております。スポーツ少年団34団体、地域団体131団体の連絡先を掲載し、子どもたちの運動・芸術等に触れる機会の充実に向けて支援をしております。また、相撲や縄跳び等の各種体育大会も開催しております。6月の青少年相撲大会では、1,200人以上の子どもたちが参加し、手に汗握る白熱した試合が繰り広げられました。さらに、ボーイスカウト・ガールスカウトや体育協会の登録団体の活動もあり、多くの取組により子どもたちの体力や運動技能の向上を図るとともに、日常的に運動に親しむきっかけをつくり、健やかな体の育



成を図っております。

以上、教育委員会の子どもたちの放課後等の過ごし方についての概要をご説明いたしました。

結びになりますが、今後とも、放課後等の子どもたちの過ごし方について、より充実した児童生徒の居場所・学びの場所を提供できるよう推進してまいります。

説明は以上でございます。

○田中和明市長 ありがとうございます。ただ今事務局より、子どもたちの放課後等の過ごし方に係る事業について説明がありました。

本市では、「子育てするなら草加、教育を受けるなら草加」と言われるようなまちづくりを目指しまして、子育て支援や教育に関する施策を進めているところでございますが、少子化が進行する中、女性の社会進出や核家族の進行などにより教育ニーズが高まっているということでございまして、今後、ますます放課後や休日を含めて、子どもたちの放課後等の過ごし方に係る施策を展開していく必要があるのではないかと感じております。

また、行政だけではなくて、学校・家庭・地域が連携して取り組んでいくことが、今後、非常に大切だと感じているところでございます。

事務局にお伺いしたいのですが、資料1の4番で、川柳文化センターの事業が13事業で171人、谷塚文化センターは、68事業で1,569人ですが、公民館同士の連携はどのようになっていますか。柿木公民館の12事業、312人というのは、東埼玉道路を渡らなければならぬので例外かと思うのですが、川柳文化センターは、若い世代の人たちが定着していますし、もう少し、参加者や事業も多くていいのではないかという気がします。公民館同士で、事業の話し合いの場はあるのですか。

○教育総務部長 これにつきましては、毎年、6館長が集いまして、次年度の計画を立て、また、前年度の報告を教育委員の皆様にもしているところでございます。川柳文化センターにつきましては、昨年、館長が体調を崩しまして、事業展開がなかなかうまくいかなかったということ、また、講師の先生方のご日程がつかなかったということがございました。

特に、川柳文化センターなどでは、子どもたちのために星空観察や、スズムシの飼育と観察教室などもございますが、天候により実行できないということもございまして、最終的にこのような数字になってしまったかと思えます。

人数的には、171人ということで、子どもを対象にした主催事業としては、この数字でございますけれども、他に親子で参加をしていただける事業などもございますので、そういったところでも子どもたちは参加をしております。それから、事業以外でも放課後の安全な居場所

となりますよう6公民館で考えておまして、今では夏休みの暑い盛りではございますが、涼しい居場所として開放しているところでございます。

○田中和明市長 分かりました。

教育委員の皆様から子どもたちの放課後等の過ごし方について何かご意見、ご質問がございましたら、自由な立場からご発言をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

○宇田川久美子委員 今のことと関連するのですが、子ども育成課から4番で事業人数をお知らせいただきました。指導課からも公民館の講座ということで延べ3,000人以上の参加ということでしたが、これは重なっているのですか。参加人数はそれぞれの課で数えているのかどうか、どのようにカウントされているのでしょうか。

○教育総務部長 6公民館の人数につきましては、各館、前年度の事業報告をさせていただいております、その人数を子ども未来部でもここに掲げていただいたものでございます。

○宇田川久美子委員 それでは、これは足した数ということではなくて、重なっているということですか。

○教育総務部長 それぞれの館の事業で参加した子どもたちが何人、それを足しますと3,000人になります。

○宇田川久美子委員 分かりました。

子ども育成課から学童保育の状況をご説明いただいたのですが、600人以上の増加となっているということで、今、待機児童はいないということでしょうか。

ご父兄の方から言われることでは、やはり高学年になると入れないから応募をしない、という意見をよく耳にするのですが、今は、応募するととりあえず全員どこかに入れるという状況ですと答えしてよろしいですか。

○子ども育成課長 第2児童クラブで、全て受け入れております。

○宇田川久美子委員 全て大丈夫ですか。

○子ども育成課長 はい。学校の中には、ここで資料に示しております常設児童クラブというものがありまして、仮にそこには入れない場合でも、第2児童クラブまでご活用いただければ、全て受入れはできております。

○宇田川久美子委員 ありがとうございます。

○小澤尚久委員 先ほどから講座の関係のことなど、お話に出ていることですが、夏休み中、児童館や公民館に行くと、子どもたちが過ごしている様子を私も見かけたことがあります。そこで、子どもたちのニーズに合わせた講座を公民館でも展開していただいていますし、

放課後子ども教室など、そういったところでも過ごす場をつくってくださっていることと思います。より子どもたちの興味・関心をとらえて、良さをいかしたプログラムの工夫ということも、これから必要になってくるかと思います。

一つは、ICTなど、いろいろな情報の技術といったものは、小さい頃から接しているので、慣れている子どもたちがたくさんいます。そういった良さをいかす意味で、例えば、パソコンを使った教室や初歩のプログラミング講座、教室など、そういったものを開設していくことによって、子どもたちの興味・関心をより掘り起こしていけると思います。

実際に、ITの入門講座などを実施されている公民館もあるみたいなので、施設や講師の関係はあると思いますが、そういった取組をより若年層にも広げていくといいのではないかと考えております。

もう一つ、最近の子どもたちは、リズム感がとてもいいなと感じています。音楽を聞く機会や、体を動かす機会が増えているということもあるかと思うのですが、そういった興味、良さをいかして、今は、高校ダンス選手権や文化祭など、そういった盛り上がりやテレビなどで報じられているので、ダンス教室等も取り入れたりして、子どもたちのニーズをとらえていくのも一つかと思えます。

○田中和明市長 公民館では、今、小澤委員が言われたように、ITのパソコン教室など、夏休みで行っていますか。

○教育総務部長 公民館で子どもたちに特化したパソコン教室などは開いておりません。子どもたちの興味・関心という部分と、また、教室を開設することによって、子どもたちがかえって参加しないというようなところもあったり、そのところのせめぎ合いが難しいところだとも思っております。子どもたちの意向なども十分聞きながら、公民館の活動は展開をしているところではございます。

○田中和明市長 資料2に「ニュースポーツを楽しもう」とありますが、この写真はどこの公民館ですか。このようなダンス教室など、子どもに特化したものは夏休みに行っていないのですか。

○教育総務部長 中央公民館では、夏休みの講座として、12種類用意しております。その中でニュースポーツなどが関わってくると思います。この写真はおそらく、中央公民館の小体育室であるかと思えます。

○田中和明市長 今、小澤委員が言われたように、子どもたちにアンケートをとり、どのような講座を今後やっていくのかを考えるのもおもしろいと思いますので、参考にさせていただけれ

ばと思います。

○村田悦一教育長職務代理者 本日は、子どもたちの放課後等の過ごし方ということでお話をいただいておりますが、この総合教育会議は、市長部局と教育委員会の連携や調整を図るということで、先ほど資料1と資料2で別々に説明があり、草加の子どもたちは放課後にこんなことをやっているという紹介だけで終わってしまっています。それでは、今、どこに課題があるのか、その課題解決に向けて市長部局と教育委員会では、今、どのような取組をしているのか、そういった課題に向かって取り組まないと、総合教育会議が事業の紹介で終わってしまって、そのことについていかがですかと問われても、発展がないかと思います。私が今、一番、子どもたちの放課後等の過ごし方で課題に思っているのは、先ほど子ども未来部子ども育成課から出ました3番の放課後子ども教室です。週1回しか開催できていないということでしたが、なぜできる所とできない所があるのでしょうか。この辺りについて、教育委員会と担当の子ども育成課で話すといったことが必要かと思います。

先ほど市長から、学校・家庭・地域の連携ということでお話がありましたが、私なりに課題解決としては、教育目標3、家庭、地域の教育力の向上が位置付けられているのですが、平成30年度から教育委員会では、コミュニティ・スクールの研究ということで、過日も久喜市に視察に行ってきましたけれども、学校・家庭・地域社会が一体となってより良い教育活動に取り組むために、コミュニティ・スクールの導入に向けた研究を進めています。

久喜市からいただいた資料では、学校と保護者、地域住民が学校や地域の課題を共有し、共通の目標、ビジョンをもって地域の子どもたちを育てていくことが出ていて、そういった中でPTAとの連携や放課後子ども教室、あるいは学校応援団など、子どもたちの放課後等の過ごし方も、一つ一つ充実していくかと思います。どこに問題があって、その解決にはどうしていけばいいのか。私はそういう意味では、コミュニティ・スクールは、子どもたちの放課後等の過ごし方をより素晴らしい、より充実したものにしていくものと考えております。

○田中和明市長 特に、課題などは事務局から出ますか。

先ほど、講師の日程が合わないというお話を聞きましたが、そういうところも一つの課題になっていくのかと思います。放課後子ども教室も週1回実施している所、ここで小山小学校ができたわけですね。

○子ども未来部長 今、放課後子ども教室の課題というお話がございました。放課後子ども教室につきましては、先ほど子ども育成課長からご説明させていただきましたように、今年度より全小学校で実施をさせていただくということができました。これには、当然、放課後子ども

教室の場合、人と場所が必要でして、場所につきましては、教育委員会の皆様のご協力をいただきまして場所の確保ができ、全校で実施することができましたが、実際に子どもたちを見てくださる人材の確保が、十分にまだできていない状況がございます。基本的には、放課後子ども教室の場合、放課後の子どもたちを見守っていただく方々につきましては、いわゆるボランティアの方々にお願いしています。地域の方々も含め、お願いしているところでございまして、今、私ども子ども未来部といたしましても、まだまだ拡張していかなければいけない施策だという認識はございますけれども、なかなか人員の確保ができないということが一つの課題と考えております。

○田中和明市長 人員を確保すれば回数は増やすことは可能なのですか。

○子ども育成課長 実際に、曜日が違う中で、いろいろな小学校をかけ持ちで行っていただいているサポーターもいらっしやいまして、広報などで募集はしているのですが、なかなか人集めに苦労しているという状況です。

○宇田川久美子委員 今、村田委員がおっしゃったように、私もこういう実績を今まで積んできたということを理解したのですが、資料1のアンケートで、小学校3年生でゆっくり休みたいというお子さんが40%以上で、中学1年生では60%以上ということで、これが草加の実態なのか、全国的にこういう傾向があるのかは分からないのですが、もし小学校3年生で40%の子どもがゆっくりと休みたいと感じているならば、いろいろな取組を考えても、基本的に休みたいという子どもたちに影響はあるのでしょうか。原因が、事業が魅力的でないとか、告知がされていないというところに問題があるのか、日常がハードすぎて疲れてしまっているのか、何かこの解決策がないと、たくさん事業を盛り上げても、響かないのではないのかと感じました。ここは、平成29年の抜粋と書いてありますが、小学校3年生と中学校1年生にアンケートをとったのですか、それとも全学年でとられているものなのでしょうか。

○子ども育成課長 アンケートは小学校3年生と中学校1年生で実施をしています。この抜粋は、項目の抜粋という意味でございます。

○宇田川久美子委員 それでは、小学校3年生と中学校1年生にした意図は何でしょうか。

○子ども育成課長 また4年後に経年変化を見るということで、小学校3年生のお子さんが次の4年後は中学校1年生になりますので、それで学年を定めてアンケートをとっています。

○宇田川久美子委員 それぞれの学年でアンケートをとってみてはいかがでしょう。受験を控えたり、新たな環境になったりと、学年で異なる数字が出てくると思います。集計が大変になってしまうと思いますが、学年ごとの状況を把握することができると思います。

○田中和明市長 この子どもの実態把握調査も、小学校1年生から6年生、中学校は1年生から3年生、全ての子どもたちにとればいいのですが、なかなか全てというのも難しいところで、小学校3年生、中学校1年生に絞って実施しました。今後は、どこの時点でアンケートをとっていくのが有効なのかというものも、執行部として検討させていただきたいと思っております。

○高木宏幸教育長 子どもたちの放課後の過ごし方については、小学生と中学生とでは、実態として違いがあると思われます。子ども育成課の資料によると、中学校1年生は「平日をどう夕方まで過ごしていますか」の問いに、部活動と答えたのは70%。これは、実際に部活動の加入率が95.6%でありますので、まず中学生の平日は部活動、あるいは塾などで、中学生の生活は忙しいということで「ゆっくり休みたい」が63.5%と、そういう心情になってくるかと思ひます。

それから、小学生は、児童クラブや放課後子ども教室に26.4%、4人に1人は、ここで子どもたちが放課後を過ごしていることになります。一方で、ゆっくり休みたいというのも41%ありますけれども、友達ともっと話をしたい・遊びたいという子も53.9%います。

例えば、高砂小学校の放課後子ども教室はほぼ毎日開催していますが、一定数の子どもたちが利用しておりますので、やはり放課後、安全に過ごせるような場所があれば、ほとんどの子どもたちはそこで友達と遊んだり、話をしたりというようなことがしたいのだと思ひます。

もう一つは、児童クラブですけれども、子どもたちが児童クラブで過ごす時間は、ある統計によると、長期休業日を含め、学校にいる時間よりも児童クラブにいる時間のほうが長いという統計があります。そう考えると、児童クラブでの子どもたちの過ごし方、保育、あるいは学習、体験など、子ども未来部と教育委員会が連携をしながら、子どもたちの居場所としてどうあるべきかを議論して進めていく必要があると私自身は思っています。

○田中和明市長 今後、子ども未来部と教育委員会でさらに議論していきたいと思っております。

○加藤由美委員 私は、草加市体育協会の主催するキッズクラブ、市民体育館、記念体育館、市民プール、そうか公園で行われている指導員として、放課後の子どもたち、小学校1年生から6年生ですけれども、関わらせていただいています。

キッズクラブの登録数は、年少から6年生まで1,076人で、そのうち小学生は615人です。多くの保護者が子どもたちに運動をさせたいという意識が高いものと感じています。

しかし、子どもたちを見ていると、3分の1ぐらいは親の希望で申し込んだのかなというこ

とを感じています。また、子どもたちの一部と話を聞いてみると、習い事が多い子どももいて、宇田川委員がおっしゃったような、放課後の子どもたちは忙しくて疲れているということ、顔を見ても感じる時があり、その統計がやはりこの資料1の赤い文字でゆっくり休みたい、好きなことを楽しむ時間が欲しいというところに表れているのかと思います。

放課後児童クラブが、各学校で設置されていますけれども、できれば、駅に近い中央図書館や文化会館、例えばショッピングセンター、草加駅にあるイトーヨーカドーなどの中に設置できると便利だと感じました。

また、あるお母さんがたまたま仕事が早く終わって家に帰った時、話し声がするので誰か家にいるのかと思ったら、子どもがタブレットでオンラインゲームをしていたようで、見知らぬ相手とやり取りをしていたそうなのです。その子どもは小学校5年生なので携帯電話しか持たせていないのですが、うちに帰るとタブレットなどで親の目の届かないところで見知らぬ大人とつながったり、トラブルに巻き込まれたりすることがあることも多いので、タブレットや携帯などを与える側も与えられる側も、子どものことでそれは課題になっているのではないかと思います。

最後に、お願いですが、自転車事故がとて多くなっているの、子どもが習い事や遊び場への自転車で安全に移動ができるように、可能な限り自転車レーンを設置していただければありがたいと思います。

○田中和明市長 自転車レーンについては、道路が広ければいいのですが、なかなかうまく設置ができず申し訳ありません。交通事故が多いので、子どもたちに注意喚起をしていこうということで担当では進めているのですが、できるだけ自転車レーンを設置することができればと思っています。

加藤委員からありましたように、体育協会のプラチナキッズ、世界に通用するような選手に育てていこうということで、埼玉県が1,166人から3.0人に絞っているわけですが、そこに6人も選ばれました。

今年は、2,000人を超える4年生の中から草加の子どもたちは4人選ばれたということで、草加のスポーツというのは、中体連もですが、活躍しておりますので、ぜひ、今後は違うところでも活躍できるようにお願いします。本当に子どもたちの活躍はすごいと思います。子どもたちのスポーツ熱も広げていきたいと思っていますし、加藤委員が言われたように、図書館など、駅に近い所で放課後子ども教室ができれば、預けるお母さん方も楽なのかと思います。そういったところに設置が可能かどうかというのも、今後、検討していきたいと思っ

ります。

○井出健治郎委員 今日、資料1と資料2で現在の状況が分かりました。ありがとうございました。課題もあると思いますけれども、私は資料2で、真ん中にある「確かな学力」と「豊かな心」、「健やかな体」があって、特に学力のことについて注目しているのですが、資料1に戻っていただくと、アンケートで学校が終わってから夕食、つまり放課後やりたいことは、どちらかという勉強ではなくてゆっくりしたい、休みたいなど、楽しむ時間が欲しいということで、これは多分、夕食後は勉強してくれると思っているので、この間は、体力や心の面で、児童生徒のニーズに応じてあげるような放課後の工夫をお願いしたいと思います。今、いろいろな候補が上がってありがたいと思いますが、よりメリハリをつけて勉強してほしいので、少し休む時間も必要なのかと思います。また、土曜日等の工夫についても様々ありますので、これが絶対ではありませんけれども、また何かあれば新しいものを考えていただければと思っています。

○田中和明市長 子どもたちの放課後の居場所づくりというものを、これからも市長部局と教育委員会が一体となって新たなものを生み出して動かしていくことで、放課後、自由に遊んでいただく、楽しい場所にしていただく場所を作っていかなければいけないと思っておりますので、担当部署で十分に進めていきたいと思っております。

それでは、限られた時間の中で様々な観点からご意見をいただきまして大変ありがとうございました。本日、教育長や教育委員の皆様と意見交換をさせていただきまして、本市の教育行政が積極的に展開されていることを、今まで以上に感じることができました。今後も草加の子どもたちや市民の皆様のためにお力添えをお願いできればと思っております。

なお、冒頭の事務局の説明では、この施策のみで終わりだと思っておりますけれども、教育委員の皆様から何か、また事務局からも何かございましたらご意見をいただきたいと思いますが、特になければ、以上をもちまして終わらせていただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

---

○教育総務部長 本日は、貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。

いただきましたご意見を踏まえまして、様々にございます課題の解決に向けて取り組んでま



いりたいと思っております。今まで以上に、市長部局と教育委員会で連携しながら、子どもたちの安全で安心な放課後、土日祝日の居場所づくりに努めてまいりたいと存じます。また、教育委員会は、学校教育、社会教育、人権教育を担当しております。それぞれ担当の職員が一生懸命頑張っているところでございますので、24万人の市民の皆様方にも、今後とも、いろいろな学習の場を提供してまいりたいと存じます。

本日は、ご意見、ありがとうございました。

○田中和明市長 ありがとうございました。それでは、事務局、最後にお願いします。

---

○総合政策部長 市長、教育長、教育委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。

先ほど教育総務部長からもお話がありましており、今まで以上に市長部局と教育委員会とで課題解決に積極的に取り組んでまいりたいと思っております。よろしくをお願いします。

---

◎閉会の宣言

○総合政策部長 以上をもちまして平成30年度第1回草加市総合教育会議を終了いたします。

午前10時50分 閉会

市長 田中和明

教育長 高木宏幸